

(様式)

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

令和4年度 狭山市立奥富小学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

A : よくできている。 (90%以上)

B : 概ねできている。 (85%以上)

C : あまりできていない。 (70%以上)

D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	学校関係者評価委員から	
			評価	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・子供は学校が楽しいと通っている。友達と遊べるのが楽しみ。 ・校内だけではなく、花壇の手入れや学校周辺の清掃等、よく取り組んでいる。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	・授業にメリハリがある。 ・先生個々に工夫が見られた。先生の意欲を感じる。 ・児童が落ち着いて授業を受けている姿に安心した。 ・タブレットをいろいろな教科で、また低学年から使用している新しい学習の形に期待している。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	B	
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	
	10	児童は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B	
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	B	・楽しくのびのび生活してる姿がうれしい。 ・あいさつは、通学班の特性が出ているように思う。班長が元気だと下の学年も真似をして元気にあいさつをする。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	A	
	13	児童は、時間を守って生活している。	A	
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	B	・新体力テストが全てではないが、今後もより遊びや運動が元気いっぱいできるようにして欲しい。 ・(サッカーゴールを撤収している現状に)サッカーゴールが出ていると子供たちはもっと元気に遊ぶのではないかな。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	A	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・授業も参観できるようになったのは、やはりうれしい。 ・次年度から始まる学校運営協議会では、もっと学校と地域とで連携し、より学校を応援できる体制が整っていかると思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	

【児童・学校・保護者・地域で繋いだ教育活動の結果について】

昨年12月に保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート結果についてお知らせします。ご多用の中、大勢の保護者の皆様に回答をいただき、ありがとうございました。なお、評価内容右側の数値は評価基準（満足・だいたい満足）の肯定的評価を合わせた割合を示しました。また比較のため2年度～4年度のものを示しています。

No	評価内容	評価の割合(%)		
		4年度	3年度	2年度
1	学校は、学校だより等で教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	99	98	98
2	子供は、元気なあいさつができています。	88	87	89
3	学校は、子供の学力を高めようと努力している。	96	95	96
4	子供は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	91	90	94
5	先生は、子供のことをよく理解し、適切に相談に応じています。	95	95	97
6	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	96	92	95
7	学校は、清潔で清掃が行き届いている。	92	94	92
8	学校は、花壇、学級・学年園を整備している。	97	98	98
9	学校は、事故防止や子供の安全に取り組んでいる。	98	95	95
10	学校は、PTAと連携した教育活動を進めている。	90	86	94
11	学校は、保護者が学校行事や授業を参観する機会を多く設けている。	99	89	90
12	学校は、保護者の思いを聞く機会を設けている。	94	88	95

令和3年度は全体として評価を落とす結果をお伝えしていましたが、そこで令和3年度の結果を真摯に受け止め、令和4年度は一つ一つの教育活動や行事に対してPDCAサイクルを基に反省と改善、工夫をしながら取り組んでまいりました。その成果が今年度の保護者の皆様からのアンケートの結果に表れていたと思います。今後も引き続き、子供たちのために教職員一同、教育活動の向上に邁進してまいります。

【重点的な取り組み】

- No1・・・学校だよりではできる限り子供たちの様子を中心に発信していきました。
- No2・・・教職員からまずはあいさつをすること、常にあいさつの大切さを語ることを取り組んできました。引き続き力を入れていきます。
- No3・4・・・狭山市教育委員会からの委嘱を受け、学力向上のため学校研究に取り組んできました。引き続き研究し、成果を実証してまいります。
- No5・6・12・・・
すべての子供たちについて全教職員で共有しています。面談もいつでも受け入れ、SSW、SC、こども支援課、教育センターなどの外部機関とつながり、教育相談を行ってきました。
- No11・・・今年度はウィズコロナで感染防止を徹底した上で教育活動を進めてきました。運動会や土曜公開、また映像や保護者会などで子供たちの様子を伝えてきました。

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立奥富小学校
校長 工藤 泰輔

令和4年度 狭山市立奥富小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)学力の向上・定着 (2)豊かな心の育成 (3)安全教育・健康教育・体力の育成 (4)学年・学級経営、児童理解の充実
(5)特別支援教育充実 (6)危機管理に強い学校 (7)美しく潤いのある学校 (8)働き方改革・協働
(9)人事育成 (10)小中連携から小中一貫へ (11)幼保小連携推進協議会 (12)学校評価、学校関係評価の活用
(13)積極的な情報発信の工夫 (14)地域行事への積極的な参加 (15)PTA との連携体制 (16)奥富の人財の積極的な活用

2 本年度の経営方針

・小規模校の強みと奥富の環境を最大限に生かす学校
・奥富小の強みを生かし弱みと脅威を克服する学校

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
教育目標	1	教育目標や学校経営方針を意識して、校務分掌にあたっているか。	A	・年度当初に確実に学校経営案を職員へ周知し、日頃から実践がなされているか、授業参観、助言・指導を行い、1年を通じた意識や実践を続ける。 ・各種便りの回覧、各集会、HPの更新・改善等を通じて学校の現状を保護者や地域に更に周知徹底するように努める。
	2	指導の重点を意識して、日々の授業をしているか。	A	
	3	学校教育目標や学年・学級目標を児童・保護者等に周知するよう工夫しているか。	B	
組織運営	4	児童理解に基づき個性や可能性を伸ばすための学年・学級経営がなされたか。	B	・学年・学級経営が充実するよう、教職員相互のコミュニケーションを深める機会を作る。 ・会議等、今後も校務や行事の見直し、精選を図る。 ・次年度から始まる学級運営協議会を活用し、ボランティア活動をはじめ外部との新しい連携の仕方など、話し合いとともに実践していく。
	5	担当の校務分掌・各種委員会は、機能しているか。	A	
	6	職員会議や各部会が、計画的に持たれ、機能しているか。	A	
	7	各組織内では、「報告・連絡・相談」が適切になされているか。	A	
	8	学年研修は計画的になされているか。	A	
教育課題	9	「開かれた学校」を意識し、学習支援ボランティアを導入するなど、家庭や地域・外部機関との連携に努めているか。	B	・確実に学習の機会を確保し実施できるよう、毎月の時数確認を怠らず実施。 ・校内研修をはじめ、だれもが意欲的にICT機器を使った新しい学習形態や業務形態への改善に取り組んだ。今年度得た知識や技能を互いに校内で広め合い、学校全体で活用のスキルをさらに高めていく。 ・教師の奥富スタンダード(規律や学習のきまり)の把握と実施を徹底したい。授業のねらいを明確にすること、児童自身のまとめ、振り返りを行うこと、教師も授業を振り返り反省をし改善に努めることを徹底させる。教師同士の授業を見合う機会を設けたり、管理職による参観や助言、指導を行い、学校全体の指導力の向上を図る。 ・地域の方を講師として招聘したり、地域の伝統行事等も再開したりし、地域の協力を仰ぐ機会も増えてきた。内容や手段も見直しながら、引き続き協力を仰ぎ教育活動をより充実させていく。 ・業前運動を再開したり体育時の運動量を確保しようとしたりしたが、感染症予防策とのバランスが難しかった。また、若手も増え指導力の向上も課題である。
	10	授業時数は確保されているか。	A	
	11	日課表は適切であるか。	A	
	12	年間指導計画は本校の実態に即して適切に計画されているか。	A	
	13	指導目標をおさえた指導ができているか。	B	
	14	個々の児童の能力に応じて、基礎・基本の確実な定着を図る指導法の工夫改善がなされているか。	B	
	15	授業のねらいを明示し、児童の言葉でまとめをする授業実践に取り組んでいるか。	B	
	16	主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業が展開できたか。	B	
	17	学習指導の結果を振り返り、反省と検討をしているか。	B	
	18	評価の規準は学年内で統一されていたか。	A	
	19	学習に必要な資料・教材教具は用意され、使用後は整理や保管が適切になされたか。	A	
	20	体育部の方針に沿って、積極的に体力向上の取組を推進できたか。	C	
	21	バランスの良い心身の発達を指導し、児童の健康管理を支援できたか。	B	
	22	学びの場を地域へ広げ、地域の環境や人材を効果的に活用するよう努めたか。	A	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
研究課題	23	課題研究、校内研修に主体的に取り組んでいるか。	A	・校内研修において各ブロックで意欲的に取り組み研究授業も実施できた。 積み重ねた技術や資料を学校全体で活用できるよう、整備していく。
	24	ICTを積極的に活用して授業をしているか。	A	
生徒指導・道徳	25	授業はじめと終わりの挨拶について、指導の徹底を図っているか。	A	・授業規律の確立に向けて、授業はじめと終わりの礼の仕方を全校で統一している。感染症予防対策も今後も変化が見込まれるため、常に共通理解を意識し、学校全体で統一の指導を図る。 ・道徳教育を中心に自己肯定感を高める指導を続けていく。
	26	校外での生活指導は適切になされたか。	B	
	27	生命や人権を尊重する心情や態度を育む指導は適切になされたか。	B	
	28	豊かな心・強い意志を育む道徳教育は効果を上げているか。	B	
環境整備	29	教育効果を高めるような掲示の工夫をしたか。	A	・季節や学習事項に合わせた校内掲示を行うことができた。 ・教師自ら手本となり気持ちのいい挨拶や言葉遣いを心がけ、児童がいつでも誰とでも気持ちよく接する態度を養いたい。 ・来校者を迎える機会が回復しつつあるため、健康面、施設面ともに安全安心を第一に、行事や清掃活動などの改善を図る。 ・引き続き学校事故0を目指して『常を疑う』の精神で定期的な安全点検を行い、要修理箇所に関しては迅速に修繕を行う。
	30	特別教室が計画的に整備され、有効に利用されているか。	A	
	31	元気なあいさつは定着しているか。	C	
	32	正しい言葉づかいは定着しているか。	B	
	33	子供と一緒に清掃や除草等の作業に取り組んでいるか。	A	
	34	開かれた学校の視点から、行事や授業の公開に積極的に取り組んでいるか。	A	
	35	毎月の安全点検をしっかりと行っているか。	A	